

# 子どもの不慮の事故の発生傾向 ～厚生労働省「人口動態調査」より～



消費者ホットライン188 イメージキャラクター  
イヤヤン

令和4年度

子供の事故防止に関する関係府省庁連絡会議

令和5年3月29日

消費者庁消費者安全課

# 1. 子どもの死亡事故の現状

※出典：厚生労働省「人口動態調査」HP

- ①子どもの不慮の事故死は、病気を含む全ての死因の中で上位。
- ②不慮の事故による子ども（0～14歳）の死亡者数は減少傾向にある。

令和3年の死因順位

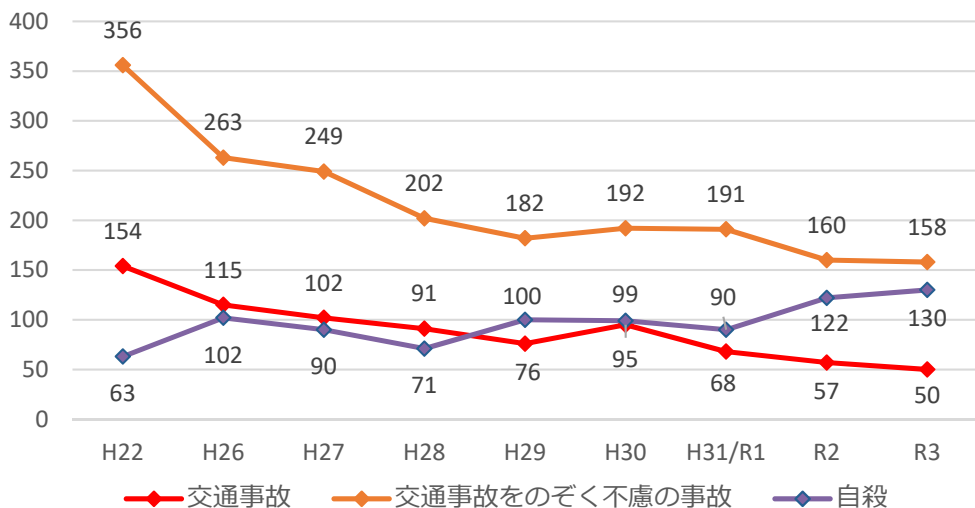
	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
0歳	先天奇形, 変形 及び染色体異常	周産期に特異的な 呼吸障害等	乳幼児突然死症候群	不慮の事故	胎児及び新生児 の出血性障害等
1～4歳	先天奇形, 変形 及び染色体異常	悪性新生物	不慮の事故	心疾患	周産期に発生した病態
5～9歳	悪性新生物	不慮の事故	先天奇形, 変形 及び染色体異常	その他の新生物(腫瘍) 心疾患	
10～14歳	自殺	悪性新生物	不慮の事故	先天奇形, 変形 及び染色体異常	心疾患

※左図：人口動態調査 上巻 5-17 死因順位別にみた性・年齢（5歳階級）別死亡数・死亡率（人口10万対）及び割合を基に消費者庁で作成

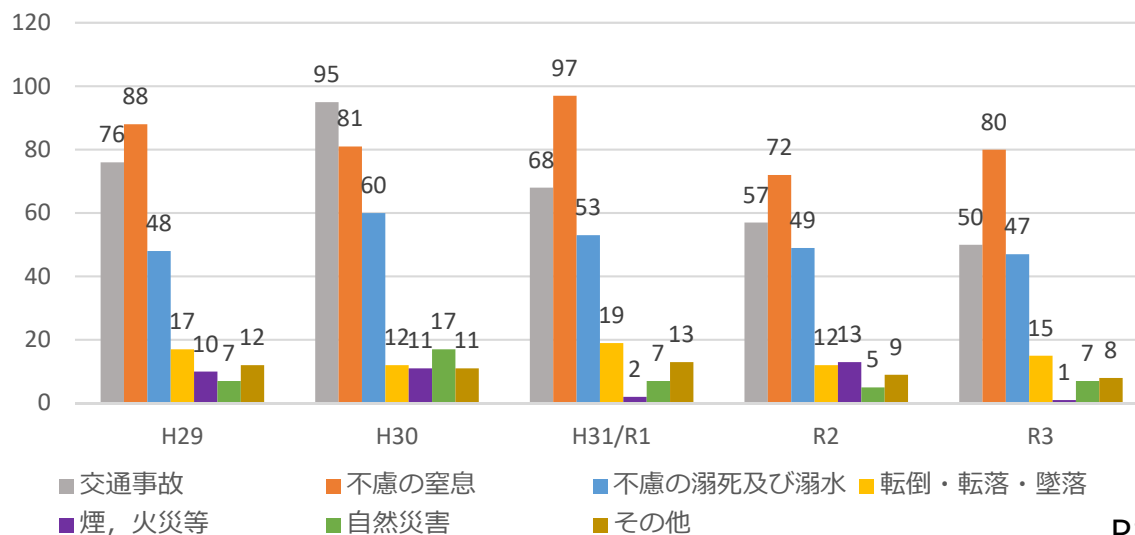
※下図：人口動態調査 下巻 死亡 第1表-1 死亡数, 死因（三桁基本分類）・性・年齢（5歳階級）別（ICD-10コードV～Y、U）を基に消費者庁で作成

※5～9歳の第4位は同率

子ども（0～14歳）の不慮の事故等死者数



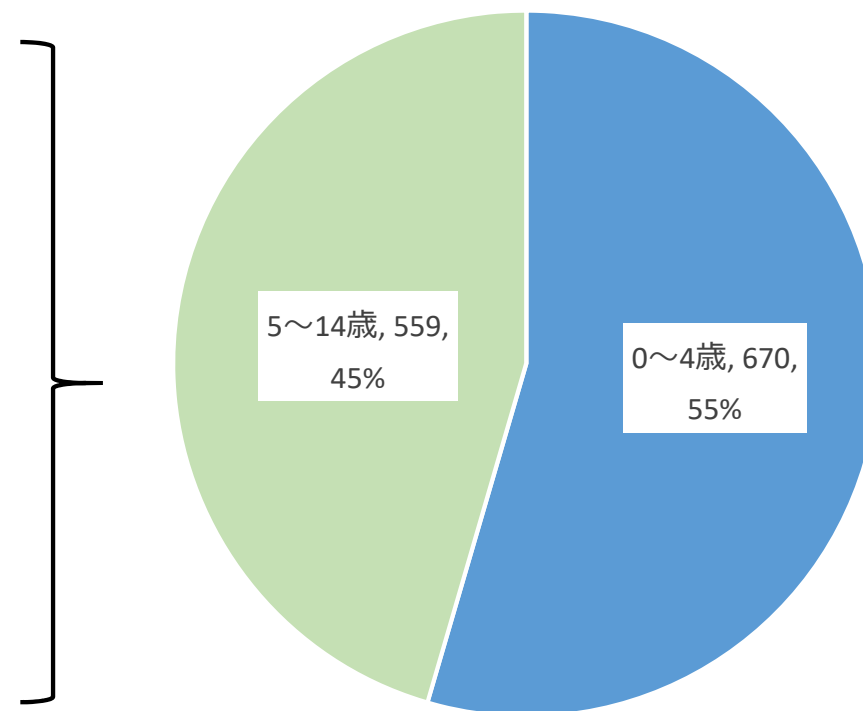
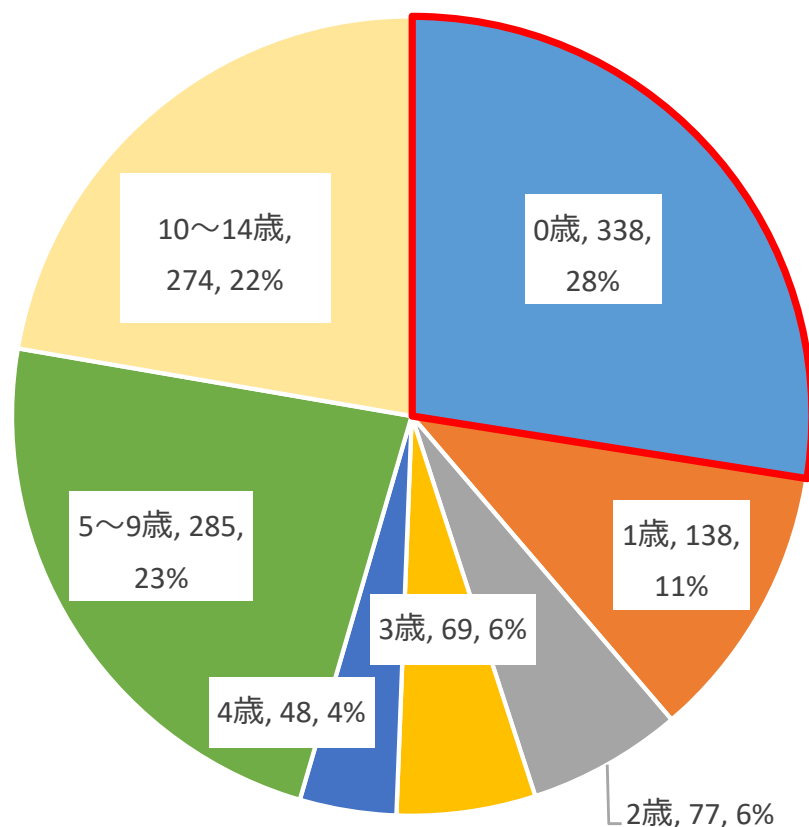
子どもの不慮の事故の死因別死亡者数



## 2. 年齢別の死亡事故発生比率

- ①平成29年～令和3年の5年間の子どもの不慮の事故1,229件のうち、0歳が338件で、0～14歳の事故の1/4を占める。
- ②0歳～4歳で0～14歳の事故の55%を占める。

年齢別の死亡事故発生比率（平成29年～令和3年の5年間で、計1,229件）



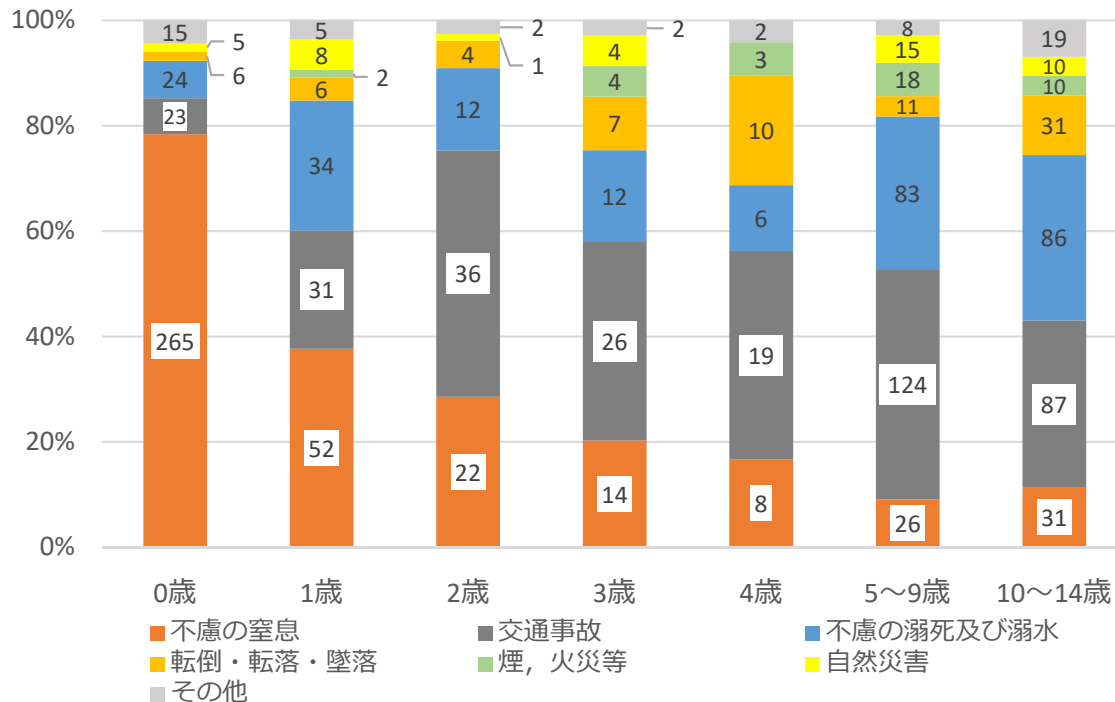
※人口動態調査 下巻 死亡 第1表-1 死亡数, 死因(三桁基本分類)・性・年齢(5歳階級)別(ICD-10コードV~Y, U)(V01-X59 不慮の事故)を基に消費者庁で作成

# 3. 年齢別に多い死亡事故の割合

平成29年～令和3年の5年間では窒息、交通事故、不慮の溺水が死因の上位。

- ① 「窒息」は、0歳で圧倒的に多く発生。（ベッド内での不慮の窒息及び絞首 等）
- ② 「交通事故」は、2歳以上で全て1位。
- ③ 「溺水」は、1歳、5歳以上で2位。また、年齢別の詳細順位で見ると3歳、5歳以上で自然水域での事故が上位。
- ④ 「転倒・転落」について、年齢別の詳細順位で見ると「建物からの転落」は、2～4歳と10～14歳が多い。

不慮の事故の死因別死亡者数（年齢別比率）  
（平成29年～令和3年）



年齢別の詳細順位 1位～5位  
（平成29年～令和3年）

年齢	1位	2位	3位	4位	5位		
0歳	窒息（ベッド内） 34%	窒息（胃内容物の誤えん） 22%	窒息（詳細不明） 7%	交通事故 7%	溺水（浴槽） 7%	窒息（その他の物体の誤えん） 7%	
1歳	交通事故 22%	溺水（浴槽） 20%	窒息（胃内容物の誤えん） 11%	窒息（食物の誤えん） 9%	窒息（ベッド内） 7%		
2歳	交通事故 47%	窒息（食物の誤えん） 12%	溺水（浴槽） 10%	窒息（胃内容物の誤えん） 9%	転落（建物又は建造物） 5%	溺水（その他） 5%	
3歳	交通事故 38%	溺水（自然水域） 10%	煙、火災等 6%	自然災害 6%	転落（建物又は建造物） 6%	窒息（食物の誤えん） 6%	窒息（その他の物体の誤えん） 6%
4歳	交通事故 40%	転落（建物又は建造物） 15%	窒息（食物の誤えん） 8%	煙、火災等 6%	溺水（浴槽） 6%		
5～9歳	交通事故 44%	溺水（自然水域） 16%	煙、火災等 6%	溺水（その他） 6%	溺水（浴槽） 6%		
10～14歳	交通事故 32%	溺水（浴槽） 15%	溺水（自然水域） 14%	転落（建物又は建造物） 9%	その他 7%		

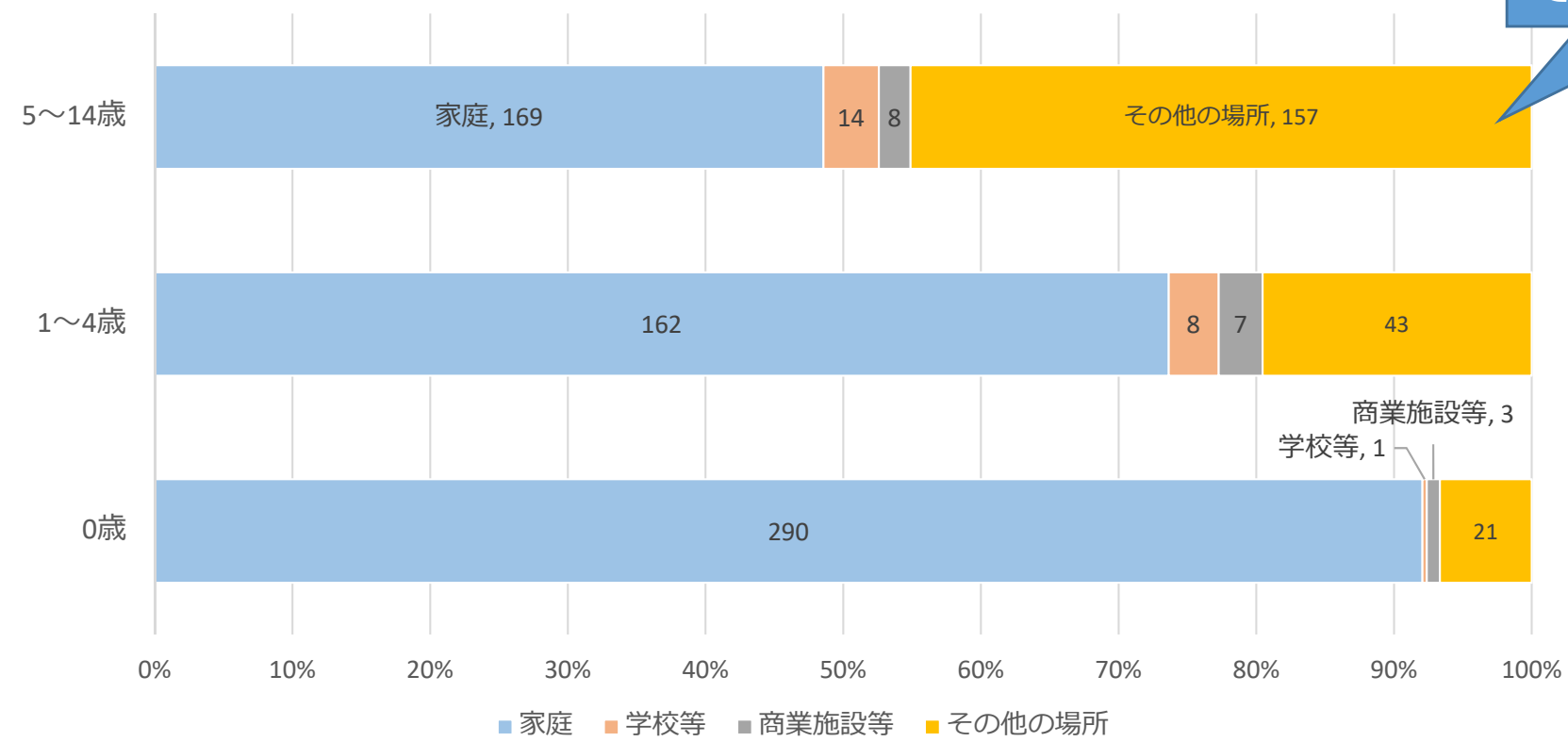
※人口動態調査 下巻 死亡 第1表-1 死亡数, 死因（三桁基本分類）・性・年齢（5歳階級）別（ICD-10コード V～Y、U）を基に消費者庁で作成

％は年齢別の不慮の事故死亡件数に対する割合。  
％が同じ場合、同率順位の場合あり。

# 4. 死亡事故発生場所

平成29年～令和3年の5年間では、交通事故をのぞく事故発生場所は、家庭内がほとんどを占め、年齢が上がるにつれその他の場所の割合が増加。

年齢別の事故発生場所（平成29年～令和3年）



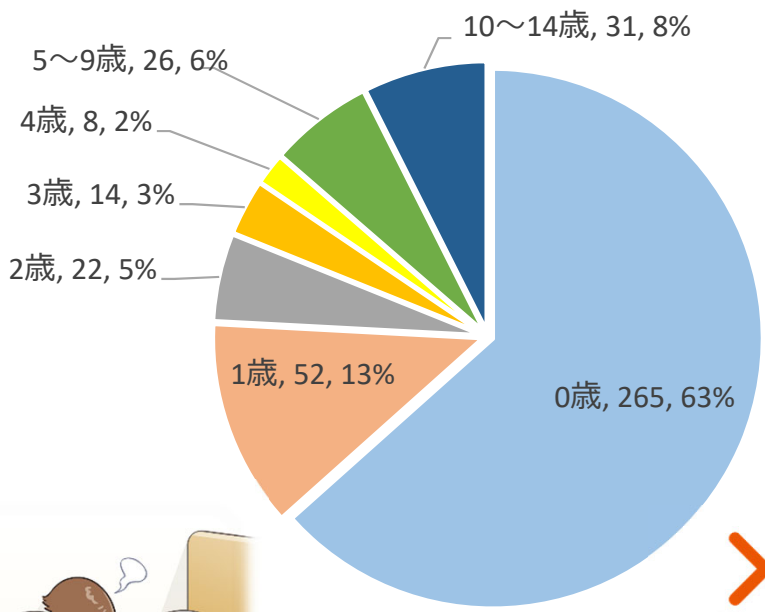
157件中、85件が海・川等自然水域での溺水事故

※人口動態調査 第9表 交通事故以外の不慮の事故（W00-X59）による死亡数，年齢（特定階級）・外因（三桁基本分類）・発生場所別を基に消費者庁で作成  
家庭は居住施設を含む、商業施設等はスポーツ施設等を含む、その他は街路等、工業用地域、農場、詳細不明を含む

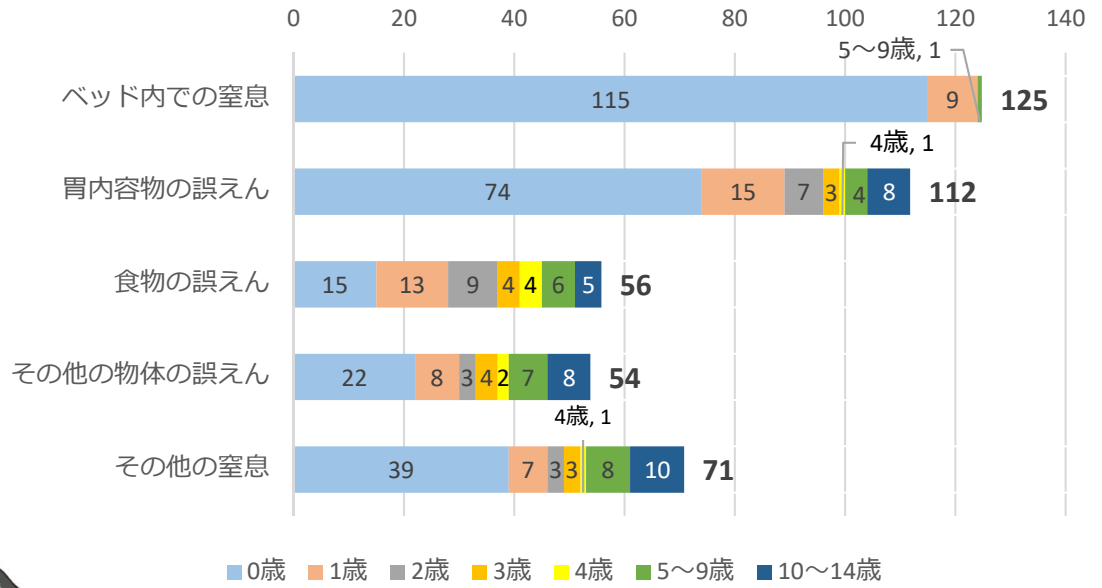
# 5. 「窒息事故」の発生傾向

- ①平成29年～令和3年の5年間で418件の不慮の窒息事故が発生。中でも0歳は265件と、0～14歳の子どもの事故の63%を占める。
- ②ベッド内での窒息は125件発生し、115件（92%）が0歳児の事故。
- ③ミルク等胃内容物、食物、風船等その他の物体を“誤えん”したことによる窒息は合計で222件発生。

1) 窒息事故の発生年齢（平成29年～令和3年）



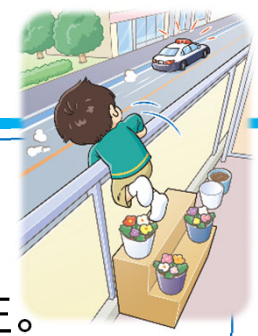
2) 窒息事故の原因と年齢（平成29年～令和3年）



3) 事故発生の状況（例）

- ・自宅でベッドとマットに頭が挟まり窒息した。
- ・自宅で2cm大のボールで遊んでいた所、誤って口に入れて窒息した。
- ・食事中に苦しがり、窒息した。

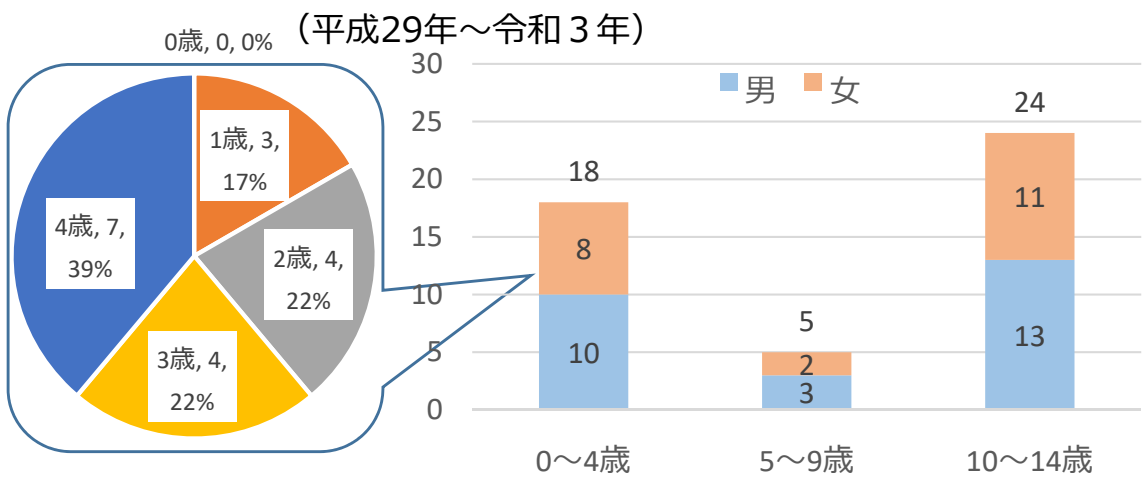
※人口動態調査 下巻 死亡 第1表-1 死亡数, 死因(三桁基本分類)・性・年齢(5歳階級)別(ICD-10コードV~Y, U)(W75~84 その他の不慮の窒息)を基に消費者庁で作成



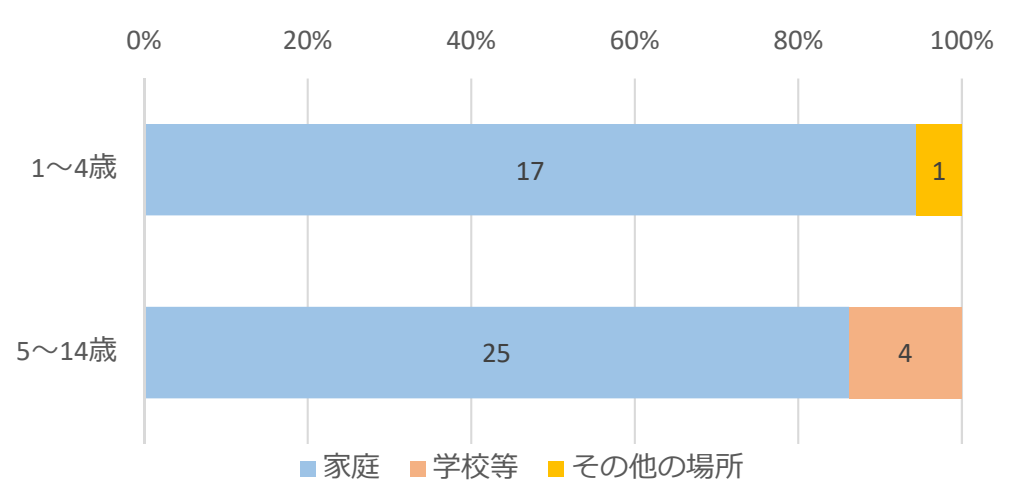
# 6. 「建物からの転落事故」の発生傾向

- ①平成29年～令和3年の5年間で47件の死亡事故が発生。
- ②10年前と比較すると減少傾向。
- ③多くが住居（家庭）で発生し、マンションのベランダや戸建2階からの事故が発生。

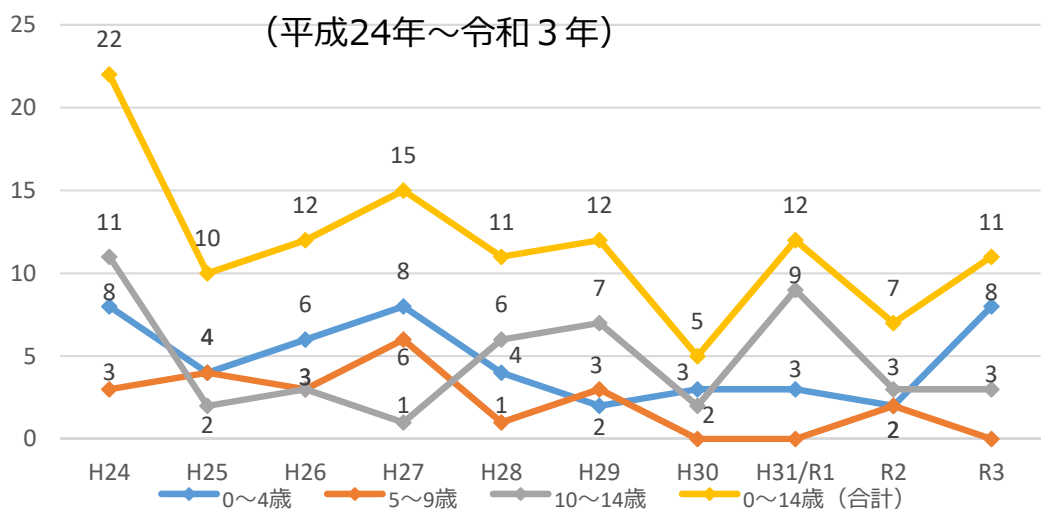
## 1) 建物からの転落事故の発生年齢・性別



## 3) 建物からの転落事故発生場所 (平成29年～令和3年)



## 2) 建物からの転落事故の年次別発生件数



## 4) 事故発生の状況 (例)

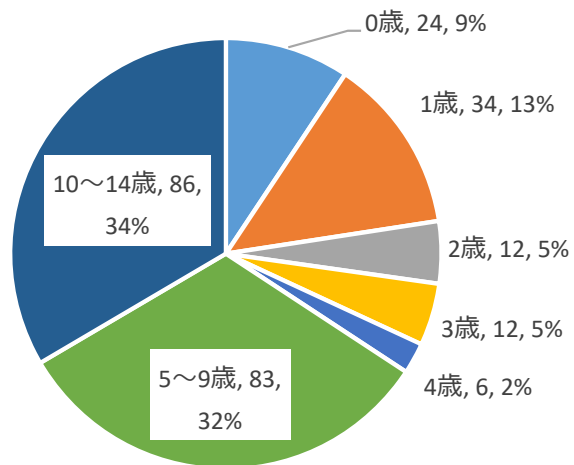
- ・マンションのベランダの椅子に乗り、転落
- ・マンションの部屋の出窓から転落
- ・友人と遊んでいて、自宅ベランダから転落
- ・マンション屋上の天窓のガラスが割れ、転落
- ・戸建2階の部屋の窓から転落
- ・学校の2階の教室窓から転落

※人口動態調査 下巻 死亡 第1表-1 死亡数, 死因 (三桁基本分類) ・性・年齢 (5歳階級) 別 (ICD-10コード V～Y, U) 及び 第9表 交通事故以外の不慮の事故 (W00-X59) による死亡数, 年齢 (特定階級) ・外因 (三桁基本分類) ・発生場所別 (W13 建物又は建造物からの転落) を基に消費者庁で作成

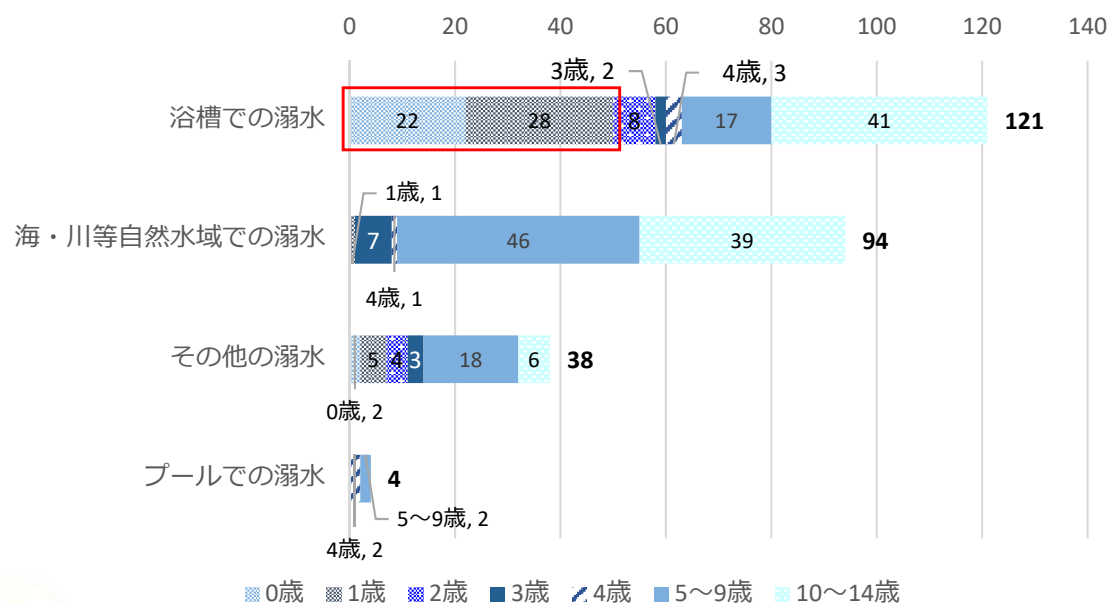
# 7. 「溺水（溺死）事故」の発生傾向

- ①平成29年～令和3年の5年間で257件の死亡事故が発生。  
浴槽での溺水が121件と最も多く、次いで海、川等自然水域での溺水事故が94件。
- ②年齢別には、0歳～1歳は浴槽での溺水、より活動的になる5歳以上で自然水域での溺水事故が最も多く発生している。10歳以上でも浴槽内の事故は多く発生。

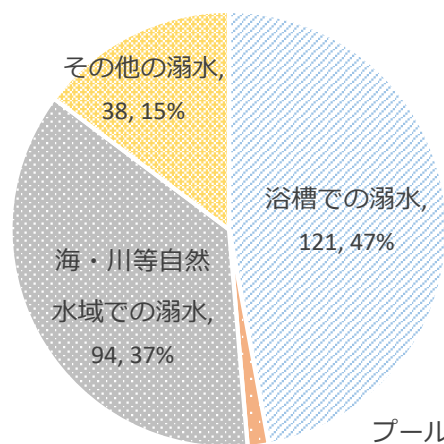
1) 溺水事故の発生年齢（平成29年～令和3年）



3) 溺水事故の年齢及び場所別発生件数（平成29年～令和3年）



2) 溺水事故の発生場所（平成29年～令和3年）



4) 事故発生の状況（例）

- ・1人で入浴していた、様子を見たらうつぶせで浮かんでいた。
- ・親と一緒に入浴し、少し目を離れた時に、うつぶせで浮かんでいた。
- ・海、川、池やため池で遊んでいる時に溺れてしまった。
- ・幼稚園や学校のプールで溺れてしまった。

※人口動態調査 下巻 死亡 第1表-1 死亡数, 死因(三桁基本分類)・性・年齢(5歳階級)別(ICD-10コード V~Y, U) (W65~74 不慮の溺死及び溺水)を基に消費者庁で作成



# ◇備考

## 1. データの出典について

- ・厚生労働省「人口動態調査」ウェブサイト

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450011&tstat=000001028897>

死亡 から

## 2. 「不慮の事故」等における、各事故の分類について

死因3桁基本分類により以下のとおり分類。

(V01-X59)不慮の事故、(V01-V98)交通事故、(W00-X59)交通事故をのぞく不慮の事故、(W00-W17)転倒・転落・墜落、(W65-W74)不慮の溺死及び溺水、(W75-W84)不慮の窒息、(X00-X09)煙、火炎等、(X30-X39)自然災害、(X60-X84)故意の自傷及び自殺

「窒息事故」：W75ベッド内での窒息、W78胃内容物の誤えん、W79食物の誤えん、W80その他の物体の誤えん、W76,77,81,83,84その他の窒息

「溺水事故」：W65-66浴槽での溺水、W67-68プールでの溺水、W69-70海・川等自然水域での溺水、W73-74その他の溺水

「建物からの転落事故」：W13